

# 平成 30 年度決算の概要

平成 30 年度は、公益社団法人として 7 年目の決算となる。本会の決算書は、新公益法人制度に準拠した公益法人会計基準（以下「平成 20 年会計基準」という。）に基づき、大きく 3 つの会計区分となっている。「公益目的事業会計」「収益事業等会計」「法人会計」である。

## 1. 経常収益について

**経常収益計 532,041 千円**

- ① 受取入会金は 15,312 千円で、1,276 人と入会見込数を 24 名下回ったものの、前年度決算と比較して 732 千円（61 人増）の増収となった。
- ② 受取会費は 74,735 千円で、14,947 人と見込会員数を 697 名上回り、前年度決算と比較して 2,985 千円（597 人増）の増収となった。
- ③ 介護保険報酬等は、245,986 千円となった。内訳は次のとおりである。

・介護保険報酬	164,023 千円
・医療保険報酬	74,480 千円
・利用料	7,483 千円
- ④ 受講料は、35,384 千円で、前年度決算と比較して 9,990 千円の減収となった。
- ⑤ 茨城県委託収益は、茨城県等からの委託事業 15 事業で 128,113 千円となった。内訳は、次のとおりである。

(茨城県委託) 12 事業	127,451 千円
・ナースセンター受託事業	49,550 千円
・看護職員ブラッシュアップ研修事業	10,762 千円
・母子保健センター相談事業	4,355 千円
・訪問看護支援事業	15,661 千円
・妊娠等専門相談窓口事業	4,201 千円
・実務看護職員研修事業	432 千円
・助産師出向支援導入事業	2,102 千円
・看護介護連携体制構築・人材育成支援事業	9,967 千円
・在宅医療推進体制整備事業	7,065 千円
・認知症対応能力研修事業	1,230 千円
・いばらきがん患者トータルサポート事業	21,826 千円
・医療従事者の WLB 推進ワークショップ事業	300 千円

(その他の委託)

・看護政策推進のための組織強化事業（日本看護協会）等 3 事業	662 千円
---------------------------------	--------
- ⑥ 受取補助金は、看護職員就業相談員派遣面接事業等 4,188 千円となった。
- ⑦ 日本看護協会から業務委託事業収益及び助成金として 11,118 千円となった。
- ⑧ 雑収益は、事務室賃貸料、協賛金など 17,205 千円となった。

## 2. 経常費用について

**経常費用計 531,948 千円**

- ① 公益目的事業会計の経常費用計の合計は 511,998 千円であった。  
内訳は、次のとおりである。
- ・教育・研修等による看護の質の向上に関する事業 100,927 千円
  - ・看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業 62,457 千円
  - ・看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の改善等への提言に関する事業 6,044 千円
  - ・健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業 74,374 千円
  - ・地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営 268,196 千円
- ② 収益事業等会計の経常費用計の合計は 8,901 千円であった。
- ③ 法人会計の経常費用計は 11,049 千円であった。

### ○ 公益法人の財務三基準を満たす決算

平成 30 年度正味財産増減計算書は、公益社団法人の要件として本会に求められる次のような財務三基準をクリアした内容になっている。

#### ■ 公益法人の財務三基準

- ① 収支相償の原則：公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償う額を超えないと見込まれること⇨資金を蓄積していないこと

⇒ **収入（経常収益等） 506,029千円** < **支出（経常費用） 511,998千円**

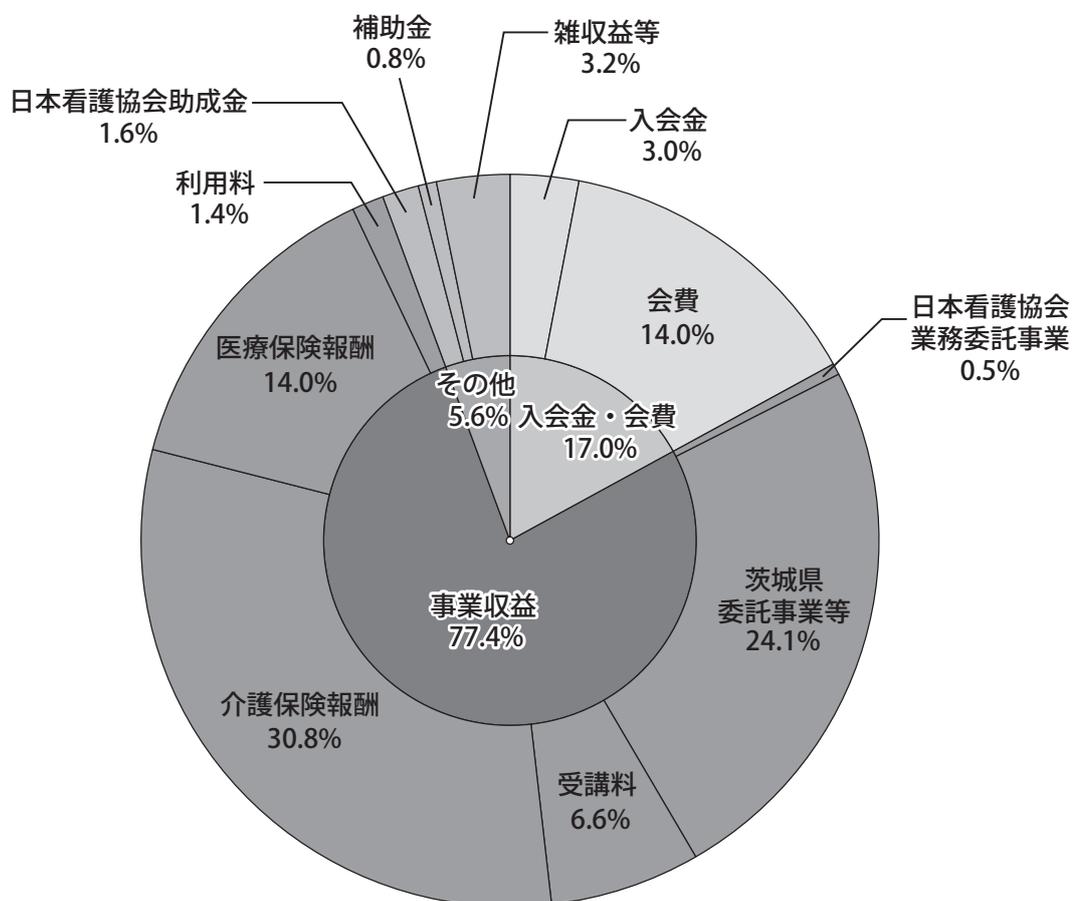
- ② 公益目的事業比率：50%以上（公益目的事業比率が100分の50以上となると見込まれるものであること）

⇒ 
$$\frac{\text{公益目的事業の経常費用 } 511,998\text{千円}}{\text{全体の経常費用 } 531,948\text{千円}} \div \boxed{96.2\%}$$

- ③ 遊休財産額の保有制限：法人純資産のうち、使途の定まらないものの額が公益目的事業に係る費用を超えないこと

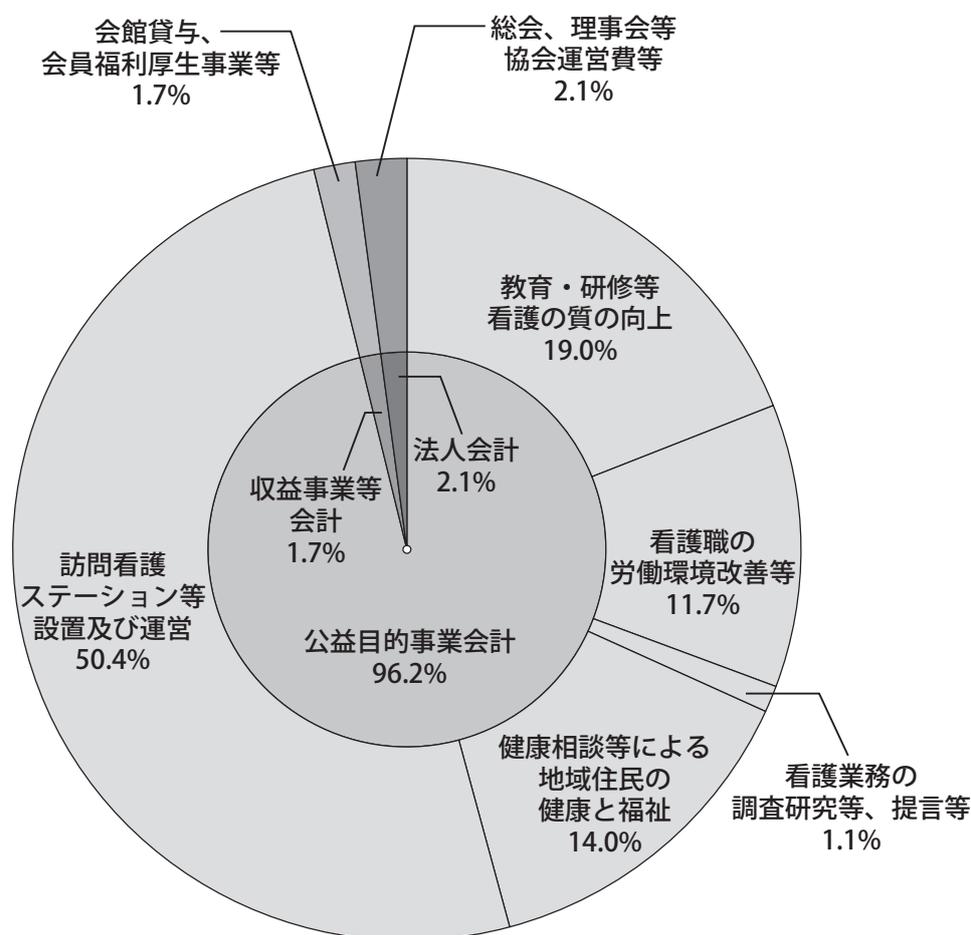
⇒ **遊休財産額 326,520千円** < **公益目的事業の経常費用 511,998千円**

## 【平成 30 年度 経常収益計 (532,041 千円)】



科目	細目	金額(千円)	構成比(%)
入会金・会費	入会金	15,312	3.0%
	会費	74,735	14.0%
入会金・会費 計		90,047	17.0%
事業収益	日本看護協会業務委託事業	2,512	0.5%
	茨城県委託事業等	128,113	24.1%
	受講料	35,384	6.6%
	介護保険報酬	164,023	30.8%
	医療保険報酬	74,480	14.0%
	利用料	7,483	1.4%
事業収益 計		411,995	77.4%
日本看護協会助成金		8,606	1.6%
補助金		4,188	0.8%
雑収益等		17,205	3.2%
合計		532,041	100.0%

## 【平成30年度 経常費用計 (531,948千円)】



会計区分	定款事業名	金額(千円)	構成比(%)
公益目的事業会計	教育・研修等看護の質の向上	100,927	19.0%
	看護職の労働環境改善等	62,457	11.7%
	看護業務の調査研究等、提言等	6,044	1.1%
	健康相談等による地域住民の健康と福祉	74,374	14.0%
	訪問看護ステーション等設置及び運営	268,196	50.4%
公益目的事業会計 計		511,998	96.2%
収益事業等会計	会館貸与、会員福利厚生事業等	8,901	1.7%
法人会計	総会、理事会等協会運営費等	11,049	2.1%
合計		531,948	100.0%

# 貸借対照表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	191,996,261	172,216,972	19,779,289
未収金	60,799,521	66,846,975	△ 6,047,454
前払金	909,044	988,475	△ 79,431
仮払金	4,200	3,200	1,000
流動資産合計	253,709,026	240,055,622	13,653,404
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
建物	135,031,638	139,187,878	△ 4,156,240
建物附属設備	1	4,548	△ 4,547
基本財産引当資産	2,508,654	2,508,630	24
減価償却引当資産	112,057,380	112,054,356	3,024
運営準備引当資産	42,331,862	42,327,638	4,224
退職給付引当資産	50,867,600	51,739,200	△ 871,600
会館維持積立資産	5,145,608	5,145,558	50
特定資産合計	347,942,743	352,967,808	△ 5,025,065
(2) その他固定資産			
建物	191,895,555	197,250,787	△ 5,355,232
建物附属設備	95,377,437	107,078,951	△ 11,701,514
構築物	3,461,101	3,875,452	△ 414,351
車両運搬具	2	2	0
什器備品	3,545,084	6,169,623	△ 2,624,539
土地	44,064,550	44,064,550	0
借地権	1,053,728	1,053,728	0
電話加入権	240,000	240,000	0
ソフトウェア	0	0	0
敷金	70,000	70,000	0
その他固定資産合計	339,707,457	359,803,093	△ 20,095,636
固定資産合計	687,650,200	712,770,901	△ 25,120,701
資産合計	941,359,226	952,826,523	△ 11,467,297
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	17,463,082	27,261,472	△ 9,798,390
前受金	59,312,000	54,524,720	4,787,280
預り金	9,357,279	9,584,296	△ 227,017
未払法人税等	82,000	82,000	0
未払消費税等	967,100	2,186,300	△ 1,219,200
流動負債合計	87,181,461	93,638,788	△ 6,457,327
2. 固定負債			
退職給付引当金	50,867,600	51,739,200	△ 871,600
固定負債合計	50,867,600	51,739,200	△ 871,600
負債合計	138,049,061	145,377,988	△ 7,328,927
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
茨城県補助金	92,314,651	95,159,181	△ 2,844,530
民間補助金	34,534,342	35,598,463	△ 1,064,121
寄付金	8,182,646	8,434,782	△ 252,136
指定正味財産合計	135,031,639	139,192,426	△ 4,160,787
(うち特定資産への充当額)	(135,031,639)	(139,192,426)	(△ 4,160,787)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	668,278,526	668,256,109	22,417
一般正味財産合計	668,278,526	668,256,109	22,417
(うち特定資産への充当額)	(162,043,504)	(162,036,182)	( 7,322)
正味財産合計	803,310,165	807,448,535	△ 4,138,370
負債及び正味財産合計	941,359,226	952,826,523	△ 11,467,297

# 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>特定資産運用益</b>	12,990	11,245	1,745
特定資産受取利息	12,990	11,245	1,745
<b>受取入会金</b>	15,312,000	14,580,000	732,000
受取入会金	15,312,000	14,580,000	732,000
<b>受取会費</b>	74,735,000	71,750,000	2,985,000
受取会費	74,735,000	71,750,000	2,985,000
<b>事業収益</b>	411,995,594	407,074,359	4,921,235
介護保険報酬	164,023,279	145,299,101	18,724,178
医療保険報酬	74,480,072	70,951,107	3,528,965
受講料	35,384,366	45,373,873	△ 9,989,507
利用料	7,483,320	8,344,506	△ 861,186
日本看護協会業務委託事業収益	2,511,778	2,622,596	△ 110,818
茨城県委託収益	128,112,779	134,483,176	△ 6,370,397
<b>受取助成金</b>	8,606,110	8,596,380	9,730
日本看護協会助成金	8,606,110	8,596,380	9,730
<b>受取補助金等</b>	4,187,651	4,069,651	118,000
受取補助金	279,000	161,000	118,000
受取地方公共団体補助金振替額	2,844,530	2,844,530	0
受取民間補助金振替額	1,064,121	1,064,121	0
<b>受取寄付金</b>	1,127,197	1,135,030	△ 7,833
受取募金	875,061	882,894	△ 7,833
受取寄付金振替額	252,136	252,136	0
<b>雑収益</b>	16,064,860	20,151,280	△ 4,086,420
受取利息	10,391	11,939	△ 1,548
雑収益	16,054,469	20,139,341	△ 4,084,872
<b>経常収益計</b>	532,041,402	527,367,945	4,673,457
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	520,898,341	520,419,035	479,306
役員報酬	19,085,896	19,085,908	△ 12
給料手当	159,751,357	143,600,528	16,150,829
臨時雇賃金	105,050,383	112,355,529	△ 7,305,146
退職慰労金	1,095,417	1,095,417	0
退職給付費用	7,723,706	7,211,043	512,663
福利厚生費	40,159,321	37,681,786	2,477,535
会館運営費	7,160,192	8,199,629	△ 1,039,437
施設維持費	1,383,846	1,383,612	234
旅費交通費	9,289,992	10,315,808	△ 1,025,816
研修費	945,546	907,007	38,539
通信運搬費	9,433,819	9,171,436	262,383
医療材料費	194,409	131,593	62,816
減価償却費	23,974,785	26,517,288	△ 2,542,503
消耗什器備品費	77,760	275,382	△ 197,622
消耗品費	10,644,986	11,790,924	△ 1,145,938
修繕費	3,080,103	4,077,903	△ 997,800
印刷製本費	11,479,140	14,804,658	△ 3,325,518
燃料費	2,461,445	2,097,531	363,914
光熱水料費	8,592,603	8,034,900	557,703
賃借料	39,792,942	41,473,659	△ 1,680,717
保険料	1,750,964	1,614,242	136,722
報償費	26,568,330	32,456,487	△ 5,888,157
租税公課	9,700,669	10,790,596	△ 1,089,927
支払負担金	7,953,877	935,766	7,018,111
委託費	4,523,920	5,593,872	△ 1,069,952
会議費	985,168	1,732,969	△ 747,801
広告宣伝費	3,196,760	2,626,532	570,228
支払手数料	1,544,300	1,668,741	△ 124,441
食糧費	3,223,925	2,614,322	609,603
雑費	72,780	173,967	△ 101,187

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>管理費</b>	<b>11,049,384</b>	<b>11,640,829</b>	<b>△ 591,445</b>
役員報酬	2,258,356	2,338,952	△ 80,596
給料手当	1,648,789	1,791,213	△ 142,424
臨時雇賃金	813,759	509,891	303,868
退職慰労金	100,583	100,583	0
退職給付費用	46,294	83,157	△ 36,863
福利厚生費	444,298	455,588	△ 11,290
会館運営費	221,448	252,610	△ 31,162
旅費交通費	580,250	589,289	△ 9,039
通信運搬費	431,882	219,730	212,152
減価償却費	281,638	288,578	△ 6,940
消耗什器備品費	0	298,188	△ 298,188
消耗品費	447,169	320,660	126,509
修繕費	14,047	17,655	△ 3,608
印刷製本費	849,955	687,717	162,238
燃料費	167	0	167
光熱水料費	174,914	159,891	15,023
渉外費	30,000	40,000	△ 10,000
賃借料	381,356	354,155	27,201
保険料	19,140	9,338	9,802
諸謝金	891,744	1,572,144	△ 680,400
租税公課	153,305	50,313	102,992
支払負担金	30,000	121,600	△ 91,600
支払寄付金	200,000	0	200,000
委託費	22,161	356,400	△ 334,239
会議費	471,258	479,929	△ 8,671
広告宣伝費	457,000	453,600	3,400
支払手数料	79,871	89,648	△ 9,777
<b>経常費用計</b>	<b>531,947,725</b>	<b>532,059,864</b>	<b>△ 112,139</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	93,677	△ 4,691,919	4,785,596
当期経常増減額	93,677	△ 4,691,919	4,785,596
<b>2. 経常外増減の部</b>			
<b>(1) 経常外収益</b>			
過年度損益修正益	0	4,789,000	△ 4,789,000
過年度受取会費等修正益	0	4,789,000	△ 4,789,000
固定資産売却益	10,740	0	10,740
車両運搬具売却益	10,740	0	10,740
<b>経常外収益計</b>	<b>10,740</b>	<b>4,789,000</b>	<b>△ 4,778,260</b>
<b>(2) 経常外費用</b>			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	10,740	4,789,000	△ 4,778,260
他会計振替額	0	0	0
<b>税引前当期一般正味財産増減額</b>	<b>104,417</b>	<b>97,081</b>	<b>7,336</b>
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>22,417</b>	<b>15,081</b>	<b>7,336</b>
一般正味財産期首残高	668,256,109	668,241,028	15,081
一般正味財産期末残高	668,278,526	668,256,109	22,417
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
<b>(1) 一般正味財産への振替額</b>	<b>△ 4,160,787</b>	<b>△ 4,160,787</b>	<b>0</b>
一般正味財産への振替額	△ 4,160,787	△ 4,160,787	0
受取補助金等	△ 3,908,651	△ 3,908,651	0
受取地方公共団体補助金	△ 2,844,530	△ 2,844,530	0
受取民間補助金	△ 1,064,121	△ 1,064,121	0
受取寄付金	△ 252,136	△ 252,136	0
受取寄付金	△ 252,136	△ 252,136	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 4,160,787</b>	<b>△ 4,160,787</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	139,192,426	143,353,213	△ 4,160,787
指定正味財産期末残高	135,031,639	139,192,426	△ 4,160,787
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>803,310,165</b>	<b>807,448,535</b>	<b>△ 4,138,370</b>

# 正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
<b>(1) 経常収益</b>					
<b>特定資産運用益</b>	<b>10,239</b>	<b>0</b>	<b>2,751</b>		<b>12,990</b>
特定資産受取利息	10,239	0	2,751		12,990
<b>受取入会金</b>	<b>13,168,320</b>	<b>306,240</b>	<b>1,837,440</b>		<b>15,312,000</b>
受取入会金	13,168,320	306,240	1,837,440		15,312,000
<b>受取会費</b>	<b>64,272,100</b>	<b>1,494,700</b>	<b>8,968,200</b>		<b>74,735,000</b>
受取会費	64,272,100	1,494,700	8,968,200		74,735,000
<b>事業収益</b>	<b>409,237,138</b>	<b>2,758,456</b>	<b>0</b>		<b>411,995,594</b>
介護保険報酬	164,023,279	0	0		164,023,279
医療保険報酬	74,480,072	0	0		74,480,072
受講料	35,384,366	0	0		35,384,366
利用料	7,483,320	0	0		7,483,320
日本看護協会業務委託事業収益	172,888	2,338,890	0		2,511,778
茨城県委託収益	127,693,213	419,566	0		128,112,779
<b>受取助成金</b>	<b>8,606,110</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>8,606,110</b>
日本看護協会助成金	8,606,110	0	0		8,606,110
<b>受取補助金等</b>	<b>4,055,929</b>	<b>71,528</b>	<b>60,194</b>		<b>4,187,651</b>
受取補助金	279,000	0	0		279,000
受取地方公共団体補助金振替額	2,748,669	52,055	43,806		2,844,530
受取民間補助金振替額	1,028,260	19,473	16,388		1,064,121
<b>受取寄付金</b>	<b>243,639</b>	<b>4,614</b>	<b>878,944</b>		<b>1,127,197</b>
受取募金	0	0	875,061		875,061
受取寄付金振替額	243,639	4,614	3,883		252,136
<b>雑収益</b>	<b>4,786,831</b>	<b>7,657,236</b>	<b>3,620,793</b>		<b>16,064,860</b>
受取利息	2,272	0	8,119		10,391
雑収益	4,784,559	7,657,236	3,612,674		16,054,469
<b>経常収益計</b>	<b>504,380,306</b>	<b>12,292,774</b>	<b>15,368,322</b>		<b>532,041,402</b>
<b>(2) 経常費用</b>					
<b>事業費</b>	<b>511,997,755</b>	<b>8,900,586</b>			<b>520,898,341</b>
役員報酬	18,966,816	119,080			19,085,896
給料手当	158,014,958	1,736,399			159,751,357
臨時雇賃金	104,021,221	1,029,162			105,050,383
退職慰労金	1,088,720	6,697			1,095,417
退職給付費用	7,648,596	75,110			7,723,706
福利厚生費	39,907,975	251,346			40,159,321
会館運営費	6,946,125	214,067			7,160,192
施設維持費	1,383,846	0			1,383,846
旅費交通費	9,192,942	97,050			9,289,992
研修費	945,546	0			945,546
通信運搬費	8,882,756	551,063			9,433,819
医療材料費	194,409	0			194,409
減価償却費	23,617,312	357,473			23,974,785
消耗什器備品費	77,760	0			77,760
消耗品費	10,159,898	485,088			10,644,986
修繕費	3,065,119	14,984			3,080,103
印刷製本費	10,949,431	529,709			11,479,140
燃料費	2,461,266	179			2,461,445
光熱水料費	8,423,519	169,084			8,592,603
賃借料	38,975,416	817,526			39,792,942
保険料	1,732,462	18,502			1,750,964
報償費	26,208,330	360,000			26,568,330
租税公課	9,246,405	454,264			9,700,669
支払負担金	7,249,600	704,277			7,953,877
委託費	4,156,215	367,705			4,523,920
会議費	936,216	48,952			985,168
広告宣伝費	3,196,760	0			3,196,760
支払手数料	1,535,541	8,759			1,544,300
食糧費	2,739,815	484,110			3,223,925
雑費	72,780	0			72,780
<b>管理費</b>			<b>11,049,384</b>		<b>11,049,384</b>
役員報酬			2,258,356		2,258,356
給料手当			1,648,789		1,648,789
臨時雇賃金			813,759		813,759
退職慰労金			100,583		100,583
退職給付費用			46,294		46,294
福利厚生費			444,298		444,298
会館運営費			221,448		221,448
旅費交通費			580,250		580,250
通信運搬費			431,882		431,882
減価償却費			281,638		281,638
消耗品費			447,169		447,169
修繕費			14,047		14,047
印刷製本費			849,955		849,955
燃料費			167		167
光熱水料費			174,914		174,914
渉外費			30,000		30,000
賃借料			381,356		381,356
保険料			19,140		19,140
諸謝金			891,744		891,744
租税公課			153,305		153,305
支払負担金			30,000		30,000
支払寄付金			200,000		200,000
委託費			22,161		22,161
会議費			471,258		471,258
広告宣伝費			457,000		457,000
支払手数料			79,871		79,871
<b>経常費用計</b>	<b>511,997,755</b>	<b>8,900,586</b>	<b>11,049,384</b>		<b>531,947,725</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 7,617,449</b>	<b>3,392,188</b>	<b>4,318,938</b>		<b>93,677</b>

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>2. 経常外増減の部</b>					
(1)経常外収益					
固定資産売却益	10,740	0	0		10,740
車両運搬具売却益	10,740	0	0		10,740
<b>経常外収益計</b>	<b>10,740</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>10,740</b>
(2)経常外費用					
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>10,740</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>10,740</b>
他会計振替額	1,649,584	△ 1,649,584	0		0
<b>税引前当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 5,957,125</b>	<b>1,742,604</b>	<b>4,318,938</b>		<b>104,417</b>
法人税、住民税及び事業税	0	0	82,000		82,000
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 5,957,125</b>	<b>1,742,604</b>	<b>4,236,938</b>		<b>22,417</b>
一般正味財産期首残高					668,256,109
<b>一般正味財産期末残高</b>					<b>668,278,526</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
(1)一般正味財産への振替額	△ 4,020,568	△ 76,142	△ 64,077		△ 4,160,787
<b>一般正味財産への振替額</b>	<b>△ 4,020,568</b>	<b>△ 76,142</b>	<b>△ 64,077</b>		<b>△ 4,160,787</b>
受取補助金等	△ 3,776,929	△ 71,528	△ 60,194		△ 3,908,651
受取地方公共団体補助金	△ 2,748,669	△ 52,055	△ 43,806		△ 2,844,530
受取民間補助金	△ 1,028,260	△ 19,473	△ 16,388		△ 1,064,121
受取寄付金	△ 243,639	△ 4,614	△ 3,883		△ 252,136
受取寄付金	△ 243,639	△ 4,614	△ 3,883		△ 252,136
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 4,020,568</b>	<b>△ 76,142</b>	<b>△ 64,077</b>		<b>△ 4,160,787</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>134,501,642</b>	<b>2,547,222</b>	<b>2,143,562</b>		<b>139,192,426</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>130,481,074</b>	<b>2,471,080</b>	<b>2,079,485</b>		<b>135,031,639</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>					<b>803,310,165</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・定額法による減価償却を実施している。  
 建物附属設備・・・定額法による減価償却を実施している。  
 構築物・・・定額法による減価償却を実施している。  
 車輛運搬具・・・定額法による減価償却を実施している。  
 什器備品・・・定額法による減価償却を実施している。  
 ソフトウェア・・・定額法による減価償却を実施している。  
 ただし、平成19年3月31日以前に取得した固定資産については旧定額法による減価償却を実施している。

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末自己都合退職給与の要支給額の100%を計上している。

#### (3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
建物	139,187,878	0	4,156,240	135,031,638
建物附属設備	4,548	0	4,547	1
基本財産引当資産	2,508,630	24	0	2,508,654
減価償却引当資産	112,054,356	3,024	0	112,057,380
運営準備引当資産	42,327,638	4,224	0	42,331,862
退職給付引当資産	51,739,200	30,590,351	31,461,951	50,867,600
会館維持積立資産	5,145,558	50	0	5,145,608
小 計	352,967,808	30,597,673	35,622,738	347,942,743
合 計	352,967,808	30,597,673	35,622,738	347,942,743

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
建物	135,031,638	(135,031,638)	—	—
建物附属設備	1	(1)	—	—
基本財産引当資産	2,508,654	—	(2,508,654)	—
減価償却引当資産	112,057,380	—	(112,057,380)	—
運営準備引当資産	42,331,862	—	(42,331,862)	—
退職給付引当資産	50,867,600	—	—	(50,867,600)
会館維持積立資産	5,145,608	—	(5,145,608)	—
小 計	347,942,743	(135,031,639)	(162,043,504)	(50,867,600)
合 計	347,942,743	(135,031,639)	(162,043,504)	(50,867,600)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	458,993,920	132,066,727	326,927,193
建 物 附 属 設 備	245,735,391	150,357,953	95,377,438
構 築 物	30,354,011	26,892,910	3,461,101
車 輛 運 搬 具	11,174,610	11,174,608	2
什 器 備 品	62,556,980	59,011,896	3,545,084
合 計	808,814,912	379,504,094	429,310,818

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記 載 区 分
補助金						
看護職員就業相談 員派遣面接モデル 事業補助金	茨城県	0	279,000	279,000	0	一般正味財産
地方公共団体補助金	茨城県	95,159,181	0	2,844,530	92,314,651	指定正味財産
民間補助金	日本自転車振興会	35,598,463	0	1,064,121	34,534,342	指定正味財産
助成金						
教育事業に対する 助成金	日本看護協会	0	8,506,110	8,506,110	0	一般正味財産
看護の普及啓発事 業に対する助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	一般正味財産
合 計		130,757,644	8,885,110	12,793,761	126,848,993	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	4,160,787
合 計	4,160,787

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているので内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	51,739,200	8,966,000	9,837,600	0	50,867,600
	51,739,200	8,966,000	9,837,600	0	50,867,600

# 財産目録

平成31年 3月31日現在

公益社団法人 茨城県看護協会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>					
(流動資産)	現金 預金	手許有高 (普通預金)	運転資金として	32,617	
		常陽銀行下市支店 No.9010548	同 上	59,412,000	
		常陽銀行下市支店 No.5560492	同 上	58,500,096	
		常陽銀行下市支店 No.9020606	同 上	5,896,033	
		常陽銀行下市支店 No.9021393	同 上	314,975	
		常陽銀行下市支店 No.6230202	同 上	3,346,142	
		常陽銀行下市支店 No.1766823	同 上	3,204,935	
		常陽銀行下市支店 No.1780247	同 上	14,976,015	
		常陽銀行鹿島支店 No.1358949	同 上	8,780,379	
		常陽銀行鹿島支店 No.1446682	同 上	1,212,563	
		常陽銀行高津支店 No.1282180	同 上	14,913,835	
		常陽銀行高津支店 No.1282193	同 上	1,406,671	
		(定期預金)			
		常陽銀行下市支店 No.1783588-003	同 上	10,000,000	
	常陽銀行下市支店 No.1783588-004	同 上	10,000,000		
		<b>(現金・預金計)</b>	<b>191,996,261</b>		
未収金	茨城県 他	茨城県委託事業の委託料収入の未収金他である。	<b>(未収金計)</b> 60,799,521		
前払金	公用車 他	公用車リサイクル料他である。	<b>(前払金計)</b> 909,044		
仮払金	駐車場代	利用者訪問に係る駐車場代の仮払金である。	<b>(仮払金計)</b> 4,200		
<b>流動資産合計</b>				<b>253,709,026</b>	
<b>(固定資産)</b>					
特定資産	建物	看護研修センター 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37%	130,481,072 4,550,566	
		建物附属設備	看護研修センター 電気設備他一式	1 0	
	基本財産引当資産	(普通預金) 常陽銀行下市支店	基本財産取得資金の引当資産として管理している。	2,508,654	
	減価償却引当資産	(普通預金) 常陽銀行下市支店	減価償却資産購入資金の引当資産として管理している。	39,151	
	運営準備引当資産	(定期預金) 常陽銀行下市支店 (普通預金) 常陽銀行下市支店	同 上	112,018,229	
	退職給付引当資産	(定期預金) みずほ銀行水戸支店 (普通預金) 常陽銀行下市支店	同 上	42,275,704	
	会館維持積立資産	(定期預金) 常陽銀行下市支店 (普通預金) 常陽銀行下市支店	同 上	46,864,700	
			会館修繕、改修等資金の引当資産として管理している。	5,145,608	
			<b>(特定資産計)</b>	<b>347,942,743</b>	
	その他固定資産	建物	看護研修センター 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37%	60,889,064 2,123,523
			看護研修センター(分館) 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	6,948,500
		看護研修センター(1・2階研修室) 水戸市緑町3丁目5番35号 (茨城県保健衛生会館内)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	76,601,667	
		土浦訪問看護ステーション 土浦市下高津2丁目7番68号 (霞ヶ浦医療センター内)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1,840,061	
		複合型サービス事業所 水戸市緑町3丁目5136番地3	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	43,492,740	
			<b>(建物計)</b>	<b>191,895,555</b>	

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
建物附属設備	看護研修センター 電気設備他一式	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37%	75,126,885 2,620,072	
	看護研修センター(分館) 電気設備他一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	882,708	
	看護研修センター(1・2階研修室) 電気設備他一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1,539,032	
	土浦訪問看護ステーション 内装改修工事一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	3,774,334	
	複合型サービス事業所絆 電気・防災設備他一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	11,434,406	
		<b>(建物附属設備計)</b>	<b>95,377,437</b>	
	構築物	看護研修センター 構内舗装他一式	(共用財産) うち公益目的保有財産96.63% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産3.37%	301,993 10,533
		土浦訪問看護ステーション 看板一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	308,439
		複合型サービス事業所絆 外構工事一式	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	2,840,136
			<b>(構築物計)</b>	<b>3,461,101</b>
		車両運搬具	公用車1台 (看護研修センター内)	(共用財産) うち公益目的保有財産92.22% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産7.78%
	公用車4台 (土浦訪問看護ステーション内)		公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	0
	公用車1台 (複合型サービス事業所絆内)		公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1
			<b>(車両運搬具計)</b>	<b>2</b>
	什器備品	事務所付帯設備一式 (看護研修センター内)	(共用財産) うち公益目的保有財産92.22% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産7.78%	1,849,918 156,065
事務所付帯設備一式 (看護研修センター(1・2階研修室))		公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1,491,756	
事務所付帯設備一式 (土浦訪問看護ステーション)		公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	2	
事務所付帯設備一式 (鹿嶋訪問看護ステーション)		公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	5	
事務所付帯設備一式 (複合型サービス事業所絆)		公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	47,338	
		<b>(什器備品計)</b>	<b>3,545,084</b>	
土地	水戸市緑町3丁目5132番地3、5136番地 1・2 (地籍338.32㎡)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	16,000,000	
	水戸市緑町3丁目5136番地3 (地籍397.52㎡)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	28,064,550	
借地権	土浦訪問看護ステーション 土盛り費用他	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	1,053,728	
電話加入権	看護研修センター4回線	(共用財産) うち公益目的保有財産97.7% うち管理目的及び収益事業等の 財源として使用する財産2.3%	234,432 5,568	
敷金	青柳駐車場(研修用駐車場)	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	70,000	
	水戸市緑町3丁目5145-3、5145-6	公益保有目的保有財産であり、 公益目的事業に使用している。	70,000	
	<b>(敷金計)</b>	<b>70,000</b>		
	<b>(その他固定資産計)</b>	<b>339,707,457</b>		
<b>固定資産合計</b>			<b>687,650,200</b>	
	うち公益目的保有財産		467,781,423	
	うち引当資産		210,402,450	
	うち管理目的及び収益事業等の財源として使用する財産		9,466,327	
<b>資産合計</b>			<b>941,359,226</b>	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	平成31年度会費	委員会旅費他	17,463,082
	前受金		(未払金計)	<b>17,463,082</b>
			公益目的事業及び収益事業等並びに管理運営の支払いに供する会費の前受分他	59,312,000
			(前受金計)	<b>59,312,000</b>
	預り金		平成31年3月分源泉所得税他	9,357,279
			(預り金計)	<b>9,357,279</b>
未払法人税等		収益事業に対する未払法人税等	82,000	
		(未払法人税等計)	<b>82,000</b>	
未払消費税等		平成30年度確定消費税等	967,100	
		(未払消費税等計)	<b>967,100</b>	
<b>流動負債合計</b>				<b>87,181,461</b>
(固定負債)	退職給付引当金	退職給与要支給引当額	公益事業及び収益事業等、管理目的業務に従事する役職員に対する退職給付金の引当金。	50,867,600
			(退職給付引当金計)	<b>50,867,600</b>
<b>固定負債合計</b>				<b>50,867,600</b>
<b>負債合計</b>				<b>138,049,061</b>
<b>正味財産</b>				<b>803,310,165</b>

## 資金調達及び設備投資の実績を記載した書類

(1) 資金調達の実績について

借入れの実績		<input type="checkbox"/> あ り	<input type="checkbox"/> な し
事業番号	借入先	金額	

(2) 設備投資の実績について

設備投資の実績		<input type="checkbox"/> あ り	<input type="checkbox"/> な し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の実績額	資金調達方法又は取得資金の用途

# 監 査 報 告 書

公益社団法人 茨城県看護協会  
会 長 相川 三保子 殿

令和元年5月14日

公益社団法人 茨城県看護協会

監 事 鈴木 君江 

公益社団法人 茨城県看護協会

監 事 宇梶 孝 

私たち監事は、公益社団法人茨城県看護協会の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

## 公益社団法人茨城県看護協会 平成30年度 決算報告書説明資料

平成30年度は、公益法人として7年目の決算となる。

当協会の決算書は、新公益法人制度に準拠した公益法人会計基準に基づき、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つの会計区分となっています。

公益法人に作成が求められている資料は、「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、そして「財産目録」の3つとなっています。

また、公益法人は、「収支相償」、「公益目的事業比率」、「遊休財産額の保有制限」の3つの財務基準をすべて満たすことが求められています。

平成30年度正味財産増減計算書のポイント(1)

経常収益(科目別内訳)

(単位:千円)

科目	H29決算額	H30決算額	増減	伸率
受取会費・受取入会金	86,330	90,047	3,717	104.3%
事業収益	407,074	411,995	4,921	101.2%
受取助成金	8,596	8,606	10	100.1%
受取補助金	4,070	4,188	118	102.9%
雑収益等	21,298	17,205	△4,093	80.8%
経常収益計	527,368	532,041	4,673	100.9%

正味財産増減計算書の経常収益についてご説明します。

経常収益は、決算額で532,041千円となり、平成29年度決算額と比較して4,673千円増収、伸率で0.9%増となっています。

その内訳は次のとおりです。

1. 受取会費・受取入会金は、決算額90,047千円となり、平成29年度より3,717千円の増収となりました。受取会費で、732千円、受取入会金で2,985千円増加したためです。

① 新会員数は、1,276人で昨年度より61名増(※平成30年度入会見込み数 1,300人)

② 会員数は、14,947人で昨年度より597名増(※平成30年度見込み数 14,250人)

2. 事業収益では、決算額411,995千円で、平成29年度決算額と比較して4,921千円の増収となりました。

① 協会立訪問看護ステーション等の利用者増加による介護保険報酬、医療保険報酬等21,391千円増収

② 茨城県委託収益の受託料減少による6,370千円の減収、昨年度開催された日本看護学会学術集会に伴う受講料9,990千円の減収等

3. 雑収益等では、保健衛生会館の事務室賃貸料、研修室利用料、協賛金等のうち平成29年度より協賛金等4,093千円の減収となりました。

## 平成30年度正味財産増減計算書のポイント(2)

### 経常収益(科目別・会計区分別内訳)

(単位:千円)

科目	合計	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計
受取会費・受取入会金	90,047	77,440	1,801	10,806
事業収益	411,995	409,237	2,758	0
受取助成金	8,606	8,606	0	0
受取補助金	4,188	4,056	72	60
雑収益等	17,205	5,041	7,662	4,502
経常収益計	532,041	504,380	12,293	15,368

経常収益の科目別・会計区分別内訳についてご説明します。

経常収益の会計区分別内訳は、公益目的事業会計が504,380千円(94.8%)、施設の貸与等の収益事業等会計が12,293千円(2.3%)、総会や理事会等当協会運営の法人会計が15,368千円(2.9%)で経常収益合計は、532,041千円となっています。

経常収益に対する公益目的事業の比率が94.8%と50%を超えているため、公益認定の基準を満たしています。

また、本会定款細則による入会金及び会費の合計額の30%以上を公益目的事業に使用することとなっています。公益目的事業には、受取会費と受取入会金合計額の86.0%、77,440千円を充当していることからこの基準も満たしています。

### 平成30年度正味財産増減計算書のポイント(3)

#### 経常費用(会計区分別内訳)

(単位:千円)

	H29決算額	H30決算額	増減	伸率
公益目的事業会計	513,492	511,998	△1,494	99.7%
収益事業等会計	6,927	8,901	1,974	128.5%
法人会計	11,641	11,049	△592	94.9%
合計	532,060	531,948	△112	99.9%

#### 正味財産増減計算書の経常費用についてご説明します。

経常費用は、決算額で531,948千円となり、平成29年度決算額と比較して112千円、伸率で0.1%の微減となっています。

会計区分別の内訳では、公益目的事業会計が511,998千円(96.2%)、施設の貸与等の収益事業等会計が8,901千円(1.7%)、総会、理事会等当協会の運営に支出した法人会計が11,049千円(2.1%)となっています。前年度に比べ公益目的事業会計で、1,494千円減少、収益事業等会計で、1,974千円増加、法人会計では592千円減少しています。

主な増減の理由は、次のとおりです。

1. 公益目的事業会計では、訪問看護ステーション等の運営強化を図るため人員配置を増やしたことにより人件費等が増額となりましたが、諸経費の支出見直し等もあり、合計では減額となりました。
2. 収益事業等会計では、70周年記念事業の経費等を主因に増額となりました。
3. 法人会計では、日本看護学会学術集会開催に伴う費用や内部管理諸経費の削減等により減額となりました。

## 正味財産当期増減額

正味財産増減計算書のポイント(2)とポイント(3)と合わせてご覧ください。

- 経常収益合計額532,041千円から経常費用合計額531,948千円を差し引いた当期経常増減額は、93千円となっています。
- 当期経常増減額の会計区分別内訳は、公益目的事業会計で△7,618千円、収益事業等会計で3,392千円、法人会計では4,319千円となっています。

## 平成30年度正味財産増減計算書のポイント(4)

### 定款事業別経常費用(公益目的事業別・事業別内訳)

(単位:千円)

事業名	決算額	構成比
1. 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	100,927	19.7%
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	62,457	12.2%
3. 看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の改善への提言に関する事業	6,044	1.2%
4. 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業	74,374	14.5%
5. 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営	268,196	52.4%
経常費用計	511,998	100.0%

定款事業別経常経費についてご説明します。

経常経費のうち公益目的事業会計の定款事業別経常費用の事業ごとの内訳は、次のとおりです。

1. 教育・研修等による看護の質の向上に100,927千円
2. 看護職の労働環境等の改善等に62,457千円
3. 看護業務の調査研究及び情報収集等に6,044千円
4. 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉等に74,374千円
5. 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営に268,196千円の支出となりました。

### 平成30年度決算と財務3基準①収支相償

収 入	費 用
公益目的事業に係る経常収益 504,380円	公益目的事業に係る経常費用 511,998千円
収益事業から生じた利益の繰入額 1,649千円	
506,029千円	< 511,998千円

#### 本会の平成30年度決算と公益法人財務3基準の適合状況についてご説明します。

公益法人には、①収支相償、②公益目的事業比率、③遊休財産額の保有制限、という、いわゆる「財務3基準」をすべて満たすことが求められます。

①収支相償については、公益目的事業に係る収入が、その実施に要する費用を超えないことが、要件となっています。

本会の平成30年度決算の、正味財産増減計算書における公益目的事業の経常収益504,380千円に収益事業から生じた利益の繰入額1,649千円を加えた収入は506,029千円で、公益目的事業の経常費用の511,998千円を下回り、基準を満たしています。

平成30年度決算と財務3基準②公益目的事業比率

公益目的事業の経常費用

公益目的事業の  
経常費用

+

収益事業等の  
経常費用

+

法人会計の  
経常費用

≒ 96.2 %

≧ 50%

②公益目的事業比率については、公益目的事業費の比率が、収益事業等と法人の管理運営費用とを加えた事業費全体の50%以上であることが基準となっています。

本会の平成30年度決算の、正味財産増減計算書における経常費用の合計531,948千円に対する、公益目的事業の経常費用511,998千円の比率が約96.2%と、事業費用全体の50%を超えるため、基準を満たしています。

### 平成30年度決算と財務3基準③遊休財産額の保有制限

遊休財産額※

326,520千円

≦

公益目的事業の

経常費用

511,998千円

※ 資産－負債－(控除対象資産－対応負債)

③遊休財産額の保有制限については、遊休財産(すなわち、用途の定まらない蓄積した財産)の額が、公益目的事業を行うのに必要な1年分の額を超えないこととされています。

例えば会館維持積立資産や、運営準備引当資産など、本会が特定の用途のために保有している資産にも、遊休財産とみなされるものがあります。

本会の貸借対照表をもとに算定した遊休財産額は、平成30年度末で326,520千円で、正味財産増減計算書に反映されている公益目的事業の経常費用511,998千円を超えないため、基準を満たしています。

本会の平成30年度決算は、公益法人の財務3基準をすべて満たした決算内容となっています。